

## 事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	県民生活環境部 自然環境課	笹淵 紘平
施策名	4 しまや半島など地域活性化の推進	事業群関係課(室)		
事業群名	⑤ 地域振興のための自然資源の活用	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額	47,115

### 1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
人々の価値観の変化やニーズの多様化が進む中、国立公園やジオパーク等の地域の豊かな自然をより深く理解・体験し楽しむことを通じて、少しでも長く滞在し何度も訪れたいような滞在環境の魅力が向上する取組を推進します。		i) 自然公園等におけるインバウンド受入環境整備の推進 ii) 国立公園雲仙の滞在環境上質化 iii) 国立公園とジオパーク等の連携								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)	
	自然資源を活用した利用環境整備箇所数(累計)	目標値①	2箇所	4箇所	6箇所	8箇所	10箇所	10箇所(R7)		雲仙の滞在環境の魅力を上向きさせるため歩道等の再整備を実施する予定だったが、令和3年8月の豪雨により被災した雲仙温泉地区の復興対策に注力する必要が生じたため、予定していた工事のうち1箇所しか実施できていない。
		実績値②	0箇所	1箇所				進捗状況		
達成率②/①		0%	25%				遅れ			

### 2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等			
				R3実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R3目標	R3実績		達成率		
取組項目 i ii iii	○	1	国立公園雲仙八万地獄復興対策事業	47,115	2,558	12,245	令和4年度事業の実施状況(令和5年度新規・補正事業は事業内容)  令和3年8月の豪雨により被災した国立公園雲仙八万地獄の斜面安定対策化及び植生復元工事を実施するための測量調査・実施設計業務を行った。  事業対象		【活動指標】 測量調査・実施設計業務及び工事の発注	発注	発注		—	●事業の成果 ・設計業務や対策工事の関連工事を発注し、復興への取組を着実に進めることができた。  ●事業群の目標達成への寄与 ・対策工事が着実に進んでいることを地元に対し丁寧に説明し、今後のスケジュールを共有することにより、対策工事完了後の速やかな利用環境整備の検討に寄与することができた。
				464,036	3,218	14,660		発注						
			事業実施の根拠法令等			自然公園法		○		【成果指標】				
			事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業					他の評価対象事業(公共、研究等)	対策工事の完了			
			所管課(室)名											
			自然環境課	—	—	○	国立公園雲仙の優れた自然を享受する公園利用者及び地域住民							

### 3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 自然公園等におけるインバウンド受入環境整備の推進	●実績の検証及び解決すべき課題 ポストコロナを見込んだ受入環境の整備が必要である。	●課題解決に向けた方向性 県が実施する安全対策工事により利用者の安全を確保し、関係機関が連携して受入環境の整備に取り組んでいく。
----------------------------	----------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------

ii	<b>国立公園雲仙の滞在環境上質化</b> <b>●実績の検証及び解決すべき課題</b> 国立公園雲仙の利用拠点である八万地獄が豪雨により被災したため、利用者の安全を確保する対策工事を進めている。	<b>●課題解決に向けた方向性</b> 県が実施する安全対策工事により利用者の安全を確保し、関係機関が連携して滞在環境の上質化に取り組んでいく。
iii	<b>国立公園とジオパーク等の連携</b> <b>●実績の検証及び解決すべき課題</b> 地域が進めるジオパークを活用したコンテンツと連動した受入環境整備を進めていく必要がある。	<b>●課題解決に向けた方向性</b> ワーキング会議等により地元のニーズを把握し、受入環境の整備を図っていく。

#### 4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和5年度事業の実施にあたり見直した内容		令和6年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和5年度の新たな取組は「R5新規」と、見直しが無い場合は「—」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
取組項目 i ii iii	○	1	国立公園雲仙八万地獄復興対策事業	—	—	利用者の安全を確保し、雲仙の復興を図るため本事業を推進する。	現状維持
			R4-6				
			自然環境課				

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

##### 【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点